

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

powered by



# 企業ITを支えるAWSクラウドプラットフォームと Re:Invent 2015 発表 新サービス・機能 update

～ここから始めるクラウド化、ベスト・プラクティスのご紹介～

アマゾン データ サービス ジャパン株式会社  
事業開発本部マネージャ 瀧川 大爾



# AWSのサービスラインナップ



Partner Network

Technology Partner / Consulting Partner

Ecosystem



## Management & Administration



## 自動化とデプロイメント



## 分析



## コンテンツ配信



## アプリケーションサービス



## コンピューート処理



## ストレージ



## データベース



## ネットワーク



## AWSグローバルインフラ

Regions / Availability Zones / Contents Delivery POPS



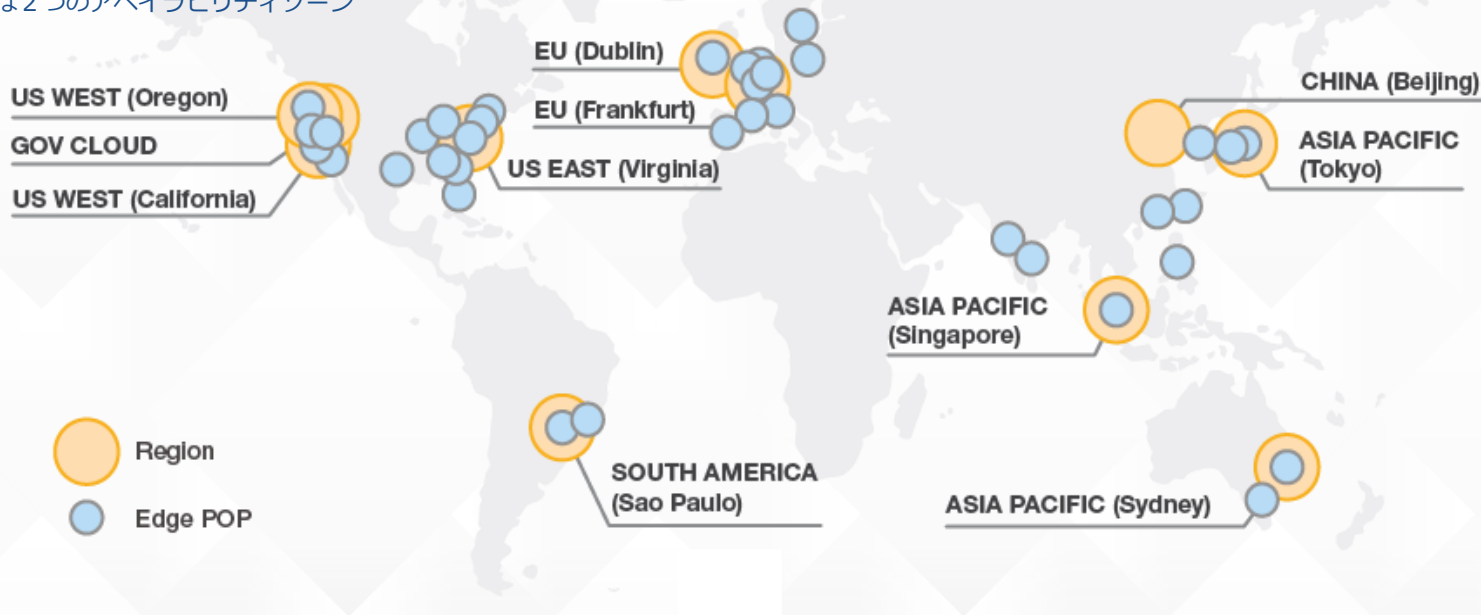
# AWSのリージョンは、3箇所以上のデータセンターで構成されており、データセンター単位の冗長性を確保

## 11のリージョン(地域) :

日本国内は東京リージョン、データやシステムはお客様が選択したリージョンに配置

## 30のアベイラビリティゾーン :

東京リージョンには2つのアベイラビリティゾーン



190か国以上で、100万を超えるお客様がご利用中

# AWS ペース・オブ・イノベーション

コンピューティング・ストレージ・ネットワーク・データベース・  
アナリティクス・アプリケーションサービス・デプロイメント・  
マネージメント及びモバイル関連サービスとして  
60以上のサービスを提供・拡大中

AWS Elastic Load  
Balancing  
Amazon FPS  
Amazon CloudWatch

AWS Auto Scaling  
AWS EMR

Amazon VPC  
Amazon RDS

2009

AWS Import/Export

Amazon SNS

AWS Identity  
& Access  
ManagementAmazon  
Route 53

2010

+82

Amazon SES

AWS Elastic  
BeanstalkAWS  
CloudFormationAmazon  
ElastiCacheAWS Direct  
Connect

GovCloud

2011

+159

AWS Storage  
GatewayAmazon  
Dynamo DBAmazon  
CloudSearch

Amazon SWF

Amazon  
Glacier

Trusted Advisor

Amazon  
RedshiftAWS Data  
Pipeline

2012

+280

Amazon Elastic  
Transcoder

AWS OpsWorks

Amazon  
CloudHSMAmazon  
AppStreamAmazon  
CloudTrailAmazon  
WorkSpacesAmazon  
Kinesis

2013

+516

AWS CodeDeploy

AWS CodeCommit

AWS CodePipeline

Amazon EC2  
Container Service

Amazon Lambda

Amazon Config

Amazon CloudWatch Logs

Amazon RDS for  
Aurora  
AWS KMS

Amazon Cognito

Amazon WorkDocs

AWS Service Catalog

AWS Directory  
ServiceAmazon Mobile  
Analytics

2014

AWS IoT

AWS Mobile Hub

Amazon EC2 Container  
RegistryAWS Database Migration  
Service

Amazon Inspector

Amazon RDS for MariaDB

Amazon Kinesis Analytics

Amazon Kinesis Firehose

AWS Import/Export  
Snowball

Amazon QuickSight

Amazon  
Elasticsearch Service

AWS WAF

Amazon API Gateway

AWS Device Farm

Amazon EFS

Amazon WorkMail

Amazon Machine  
Learning

2015

# クラウドを、 どこまで使うか・どこから使うかを検討する

## 企業インフラ (OA系)



### ファイルサーバー統合

本社・支店に乱立した  
ファイルサーバの統合



### ワークステーション環境

Windows/Officeなど、  
デスクトップ環境の仮想化

## 情報系



### ビッグデータ

あらゆる種類のデータの収  
集・蓄積・加工・分析・活用



### IoT (Internet of Things)

様々なデバイスからの  
データの収集・活用

## 基幹系



### 業務アプリ基盤

Oracle, SAP, Microsoft 等  
業務アプリケーション

企業インフラ  
(OA系)

情報系

基幹系

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

powered by  
intel



まずはここから始めませんか？

クラウドによる、ファイルサーバ統合

# 企業におけるファイルサーバ運用の課題

## 課題

- 本社・支店それぞれに乱立
  - 機材・OSライセンス管理
  - 運用ルールの画一化の難しさ
  - バックアップポリシーに差
- 増え続けるデータ
  - 柔軟な拡張が困難



## 統合により解決

- **統合ファイルサーバ**により
  - 利用率向上による**コスト削減**
  - **ガバナンス**を含めて集中管理
  - すべてを**バックアップ**対象に
- さらに**クラウド**なら
  - **柔軟な容量拡張**が可能に
  - H/Wリプレースからの開放

クラウド化でファイルサーバ統合の効果がアップ！

# EC2+EBS+S3:ファイルサーバ構築

- VPNもしくはDirect Connectで接続
- EC2+EBSでWindowsファイルサーバを設置
- S3にバックアップを保存





# パートナー様ソリューションの活用

SaaS タイプのSolution



ファイルフォース：  
企業向けコラボレーションツール

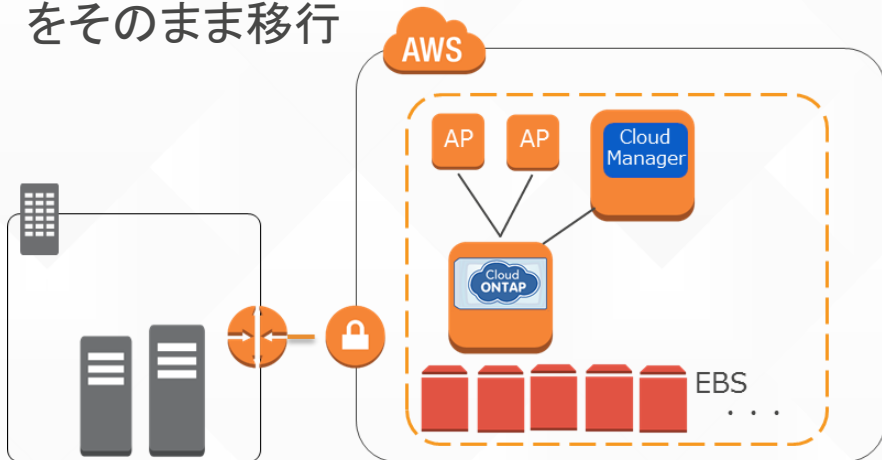
より高いレベルのファイル共有  
をSaaSとして提供

- 監査に備えた操作ログ
- 高度なファイル検索

連携Solution例



既存のワークフローによるデータ管理  
をそのまま移行



すでに完成済みのSaaS及び既存のファイル管理のワークフローを  
そのままクラウドに移行する方法もあり

# AWS Snowball 外部ストレージ発送による 大容量データ転送サービス

NEW

- スケールとスピード
  - 容量は48TB、10Gbpsで接続可能
- セキュア
  - 耐タンパーエンクロージャー
  - KMSによる256-bit暗号化とTPM
- シンプル
  - マネージメントコンソールで管理
  - 軽量なデータ転送クライアントと通知機能

Front



Rear



まずはUSリージョン  
から提供開始

大容量データを高速にクラウド移行

企業インフラ  
(OA系)

情報系

基幹系

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

powered by  
intel



# クラウドへの大きなステップ

## デスクトップ環境へのクラウド活用

# 企業が抱えるデスクトップ管理の課題

## 課題

- 物理デスクトップ
  - 定期的なPCリプレース
  - 故障時のデータ損失・漏洩
- 仮想デスクトップ
  - 集中管理
  - ソフトウェア配信
  - パッチやセキュリティUpdate
  - ハードウェアのプロビジョン
  - 小規模環境には向かないコスト



## AWSの仮想デスクトップ

### Amazon WorkSpaces

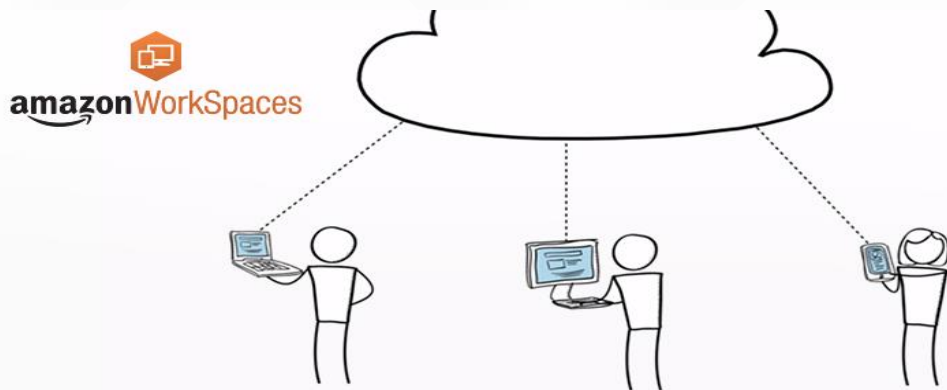
- ハードウェアやソフトウェアのインストールや管理が不要
- マルチデバイスからのアクセス
- 既存のディレクトリに対応
- 月極の料金、長期契約の必要なし
- オンプレミス VDIの半額のコスト

コストを抑えつつ、デスクトップ環境の管理をシンプルに

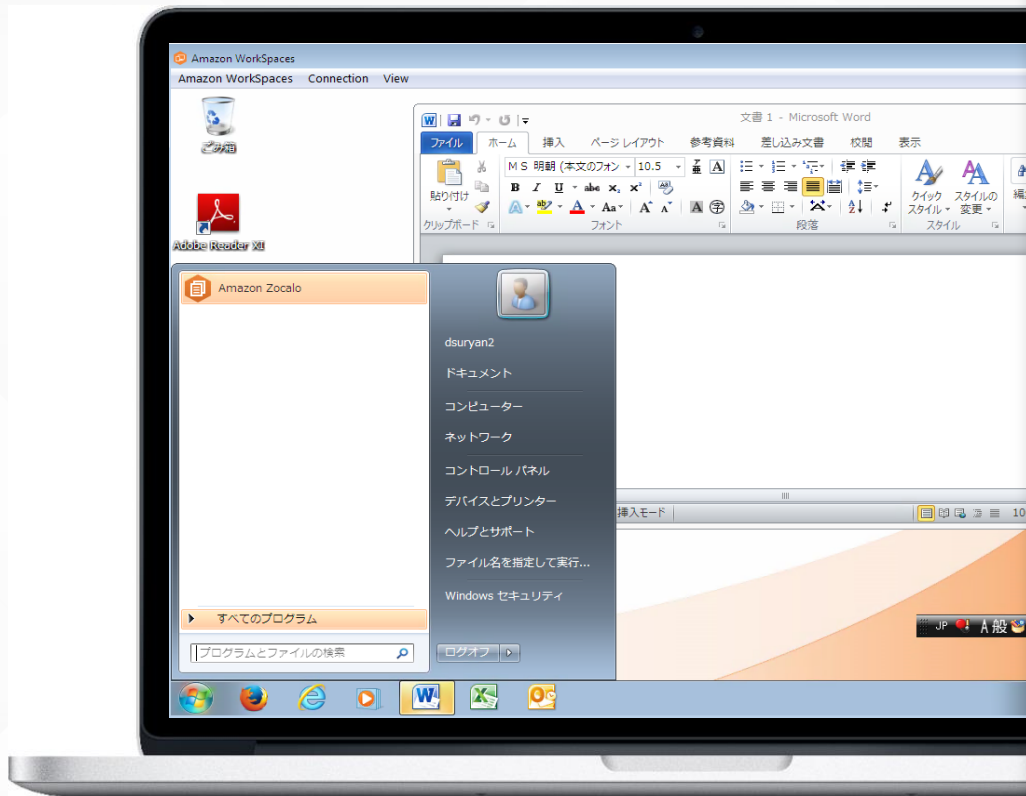
# Amazon WorkSpacesとは



- クラウドで動作する**フルマネージド型**のデスクトップコンピューティングサービス
- Windows/Mac/iPad/Kindle Fire/Androidタブレット/Chromebookなど任意の**マルチデバイス アクセス**
- マネジメントコンソールを**数回クリックするだけ**でデスクトップをユーザー数を問わずに展開可能



# WorkSpaces動作イメージデモ



- ✔ ネットワーク接続
- ✔ インターネット接続
- ✔ 登録サービス
- ✔ WorkSpaces サービス
- ✔ TCP ポート 4172
- ✔ UDP ポート 4172
- ✔ 往復時間 (17 ms)



最後にヘルスチェックを実行した場所: 15/10/13 12:10

閉じる

再確認

企業インフラ  
(OA系)

情報系

基幹系

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

powered by



## もう一歩踏み込んだクラウド活用

# ビッグデータ・IoT活用によるビジネス貢献



# 企業におけるビッグデータ・IoT活用の課題

## 課題

- 投資対効果を明確にできない
- 初期投資は抑えたい
- インフラ準備に時間がかかる
- 本番適用、グローバル展開時にちゃんとスケール出来るか心配



## クラウド化により解決

- **必要な時に、必要なだけ、低価格**でITリソースが利用可能
  - 初期投資が不要
  - すぐに利用可能
  - フルマネージドなインフラ
  - スケールアップ・ダウンが容易
  - 低額な変動価格

ビッグデータ・IoTにおける活用は、クラウドの持っている本来的な価値が当てはまるユースケース



企業インフラ  
(OA系)

情報系

基幹系

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

powered by



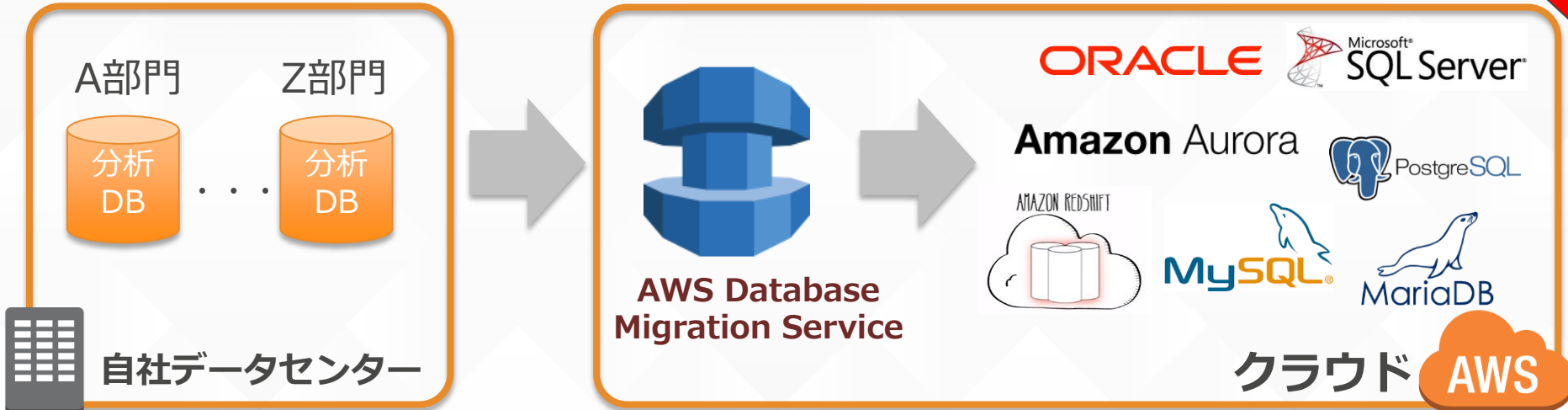
ここから始めませんか？

オンプレミス・データ分析環境のクラウド移行



# AWS データベース マイグレーション サービス

NEW



各部門で運用するデータ分析環境のクラウド移行が容易に可能

- ・ 移行作業を10分以内でスタート
- ・ 同一／異種エンジン間の移行
- ・ [aws.amazon.com/dms](https://aws.amazon.com/dms) でプレビュー受付中

**アプリケーションを稼働しながら移行できます！**

企業インフラ  
(OA系)

情報系

基幹系

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

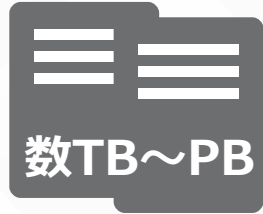
powered by  
intel



# 大規模なデータウェアハウスもクラウドで

# Amazon Redshift

## クラウドで実現できる大規模データウェアハウス



数TB~PB

データウェアハウス  
アプライアンス

自社データセンター



従来のデータ  
ウェアハウスの  
1/10以下の  
コスト！



~2PB  
拡張可能

Amazon Redshift

クラウド  AWS

高い・大変・過剰

安い・簡単・必要な分だけ

今なら、Amazon Redshift 移行検証を  
「PoCアクセラレーションプログラム」でご支援します！

企業インフラ  
(OA系)

情報系

基幹系

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

powered by  
intel



# ビジネスインテリジェンスも

# クラウドで



# Amazon QuickSight

## 超高速なクラウドベースのBIツール

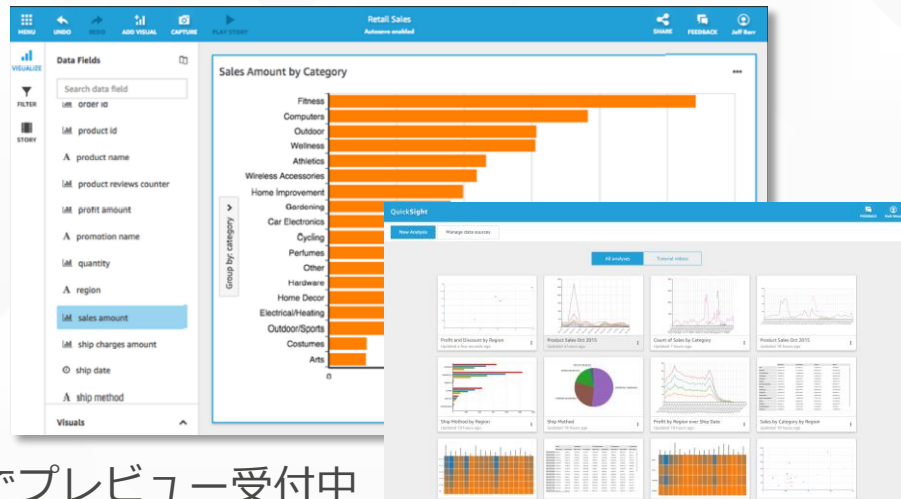
NEW

直感的なビジュアライズ機能

SPICE\*エンジンによる高速演算

低価格、使った分だけの支払い

[aws.amazon.com/jp/quicksight/preview](https://aws.amazon.com/jp/quicksight/preview) でプレビュー受付中



従来のBIツールの 1/10 のコストで実現！

\*Super-fast, Parallel, In-memory optimized, Calculation Engine

企業インフラ  
(OA系)

情報系

基幹系

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

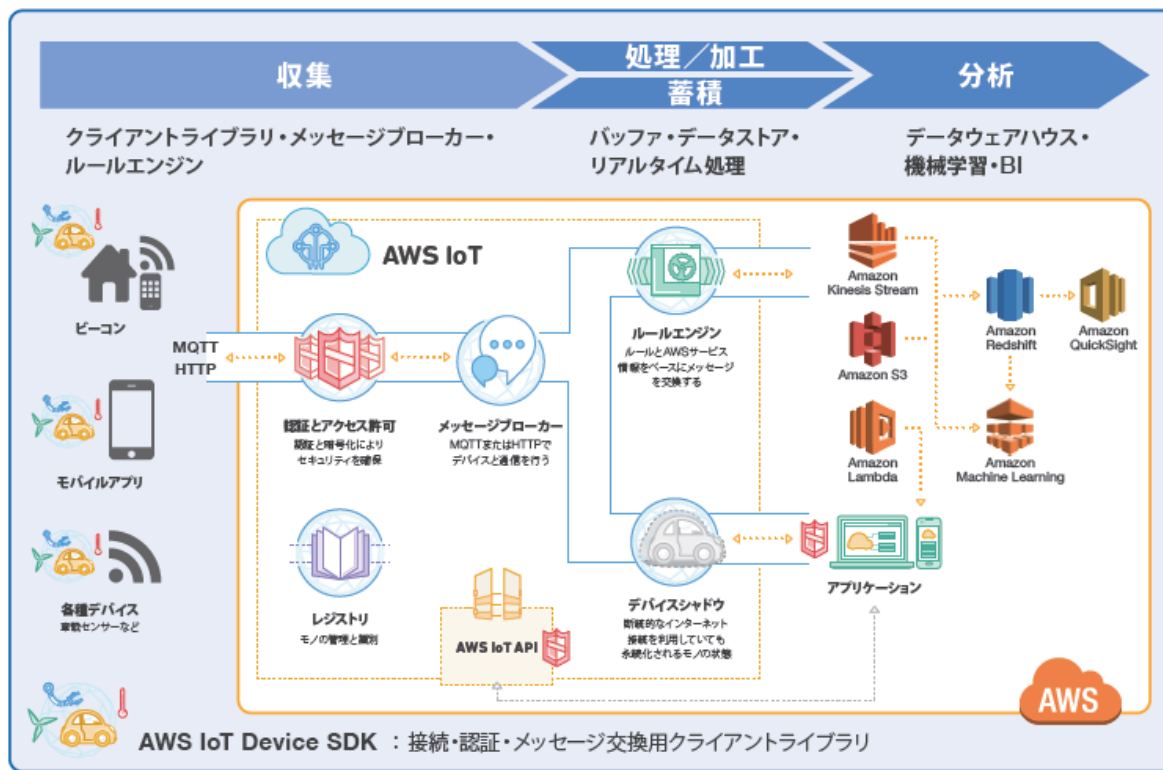
powered by  
intel



# IoTもクラウドで

# スケールするIoT活用を支えるAWS IoT

NEW



接続されたデバイスが簡単かつ安全にクラウドアプリケーションやその他のデバイスとやり取りできるマネージド型クラウドプラットフォーム



企業インフラ  
(OA系)

情報系

基幹系

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

powered by



# 基幹系もクラウドで



# ERPも AWS で、数百の事例

三井物産株式会社

MISAWA

ケンコーコム  
kenko.com

日本通運  
NIPPON EXPRESS

NOEVIR HOLDINGS

UMC

TIETECH

広島大学

KYOWA KIRIN

HOYA

三井物産株式会社

MKI

Anritsu  
Discover What's Possible™

入船鋼材

Kellogg's

IDEA Consulting Inc.

スシロー

Combi

CRESCO

ANDERSEN  
GROUP

Honda Logistics

KOMORI  
Kando: Beyond Expectations

KYOEI STEEL

株式会社 日新  
NISSIN CORPORATION

NIKKISO

WORKS  
APPLICATIONS

SAP

ORACLE

infor

powered by  
amazon  
web services

# 日本でのパートナーエコシステム

(as of 2015/7/6)

## Consulting Partner (SI/MSP etc) : 118



## Technology Partner (ISV/SaaS etc) : 147



## Direct Connect Partner



ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

powered by  
intel



# 今日のまとめ

# AWSなら、あらゆるワークロードをクラウドで あとは、どこからはじめるか

## 基幹系



### 業務アプリケーション基盤

Oracle, SAP, Microsoft 等  
業務アプリケーション

## 情報系



### IoT (Internet of Things)

様々なデバイスからのデータの  
収集・活用



### ビッグデータ

あらゆる種類のデータの収集・  
蓄積・加工・分析・活用

## 企業インフラ (OA系)



### ワークステーション環境

Windows/Officeなど、  
デスクトップ環境の仮想化



### ファイルサーバー統合

本社・支店に乱立した  
ファイルサーバの統合

**AWSクラウドは基幹系・情報系・企業インフラ (OA系)  
すべての分野で活用が進んでいます**

# 本日お持ち帰り頂きたいこと

- AWSなら解決に向けた取り組みに今すぐに着手可能です
  - OA系（ファイルサーバー統合、ワークステーション）
  - 情報系・新規事業系（ビッグデータ、IoT）
  - 基幹系（業務アプリケーション）
- クラウドを活用するワークロードを選定し、**PoC**を始めましょう。

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

powered by  
intel



# AWS re:Invent 2015 アップデート

# 新たに発表されたサービス - Day1

Service Name	Status
EC2 Dedicated Hosts	Pre-Announce
Amazon QuickSight	Preview – IAD
AWS Web Application Firewall (WAF)	Preview – IAD
Spot Blocks	All regions that support SPOT
AWS Database Migration Service	Preview
AWS Schema Conversion tool	GA
Amazon RDS for MariaDB	GA, all RDS Regions
Amazon Kinesis Firehose	GA
Amazon Inspector	Preview, PDX
AWS Import/Export Snowball	GA
AWS Config Rules	Preview



# 新たに発表されたサービス – Day2

Service Name	Status
AWS IoT	Beta - IAD, PDX, DUB, NRT
AWS Mobile Hub	Beta – IAD
Amazon Kinesis Analytics	Preview – IAD
Amazon EC2 Container Registry	Pre-Announce
Amazon CloudWatch Dashboards	GA
Amazon EC2 X1 Instances	Coming Soon

# 新たに発表されたアップデート

Service Name	Update Content
Amazon ECS	Amazon ECS CLI
	Docker Compose Support
	AZ Aware Scheduling
AWS Lambda	Python Support
	Versioning
	Scheduled Functions
	5 Minute Functions
Amazon Kinesis Stream	Amazon Kinesisの名称変更

# re:Inventに先駆けて発表されたサービス・アップデート

Service Name	Status
Amazon Elastic Search Service	New
S3 標準 - 低頻度アクセスストレージ (Standard-Infrequent Access Storage)	New
Amazon Elastic MapReduceリリース4.1.0	Update
Amazon SESがメール受信とその処理をサポート	Update
CloudTrail - KMSによる暗号化とログファイル整合性の検証	Update
WorkSpaces – Win7のBYOL, Chromebookのサポート, ディスクの暗号化	Update
CloudFormation Designerとサポート拡大	New

# その他

Service Name	Status
Aurora	東京リージョンに
API Gateway	東京リージョンに

# 新たに発表されたサービス - Day1

Service Name	Status
EC2 Dedicated Hosts	Pre-Announce
Amazon QuickSight	Preview – IAD
AWS Web Application Firewall (WAF)	Preview – IAD
Spot Blocks	All regions that support SPOT
AWS Database Migration Service	Preview
AWS Schema Conversion tool	GA
Amazon RDS for MariaDB	GA, all RDS Regions
Amazon Kinesis Firehose	GA
Amazon Inspector	Preview, PDX
AWS Import/Export Snowball	GA
AWS Config Rules	Preview

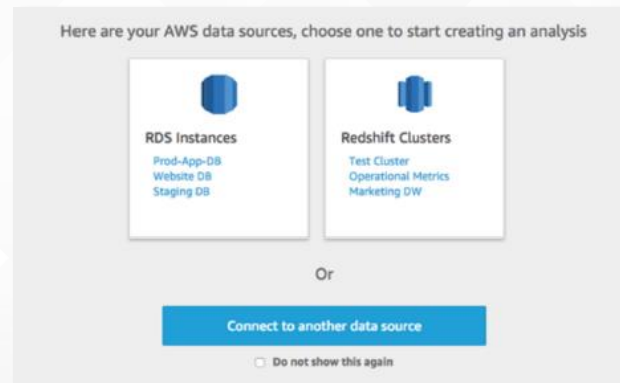
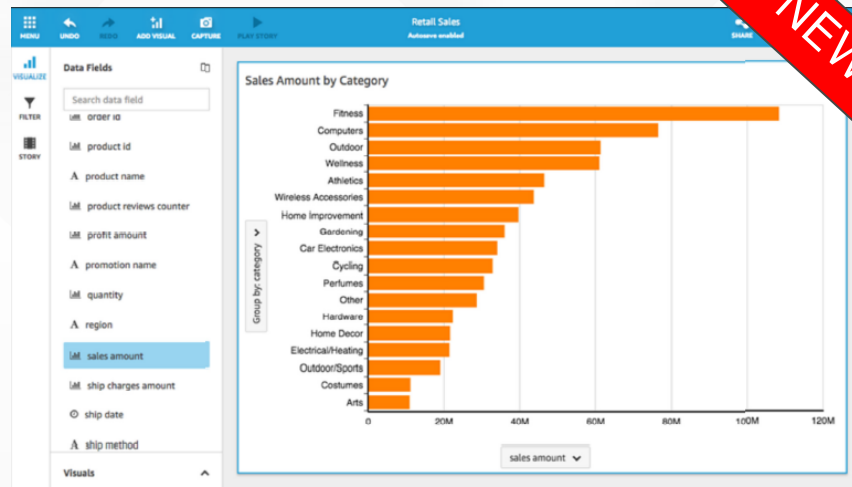
# EC2 Dedicated Host(先行発表)

NEW

- お客様に専有いただける物理サーバをご提供
- 物理サーバのキャパシティの範囲で1つ、または複数のインスタンスを稼働させることが可能
- ハードウェアの特定が可能になるため、OSをはじめとするソフトウェアライセンスの持ち込み（特にボリュームライセンス）が容易に
- AWS Configによる変更管理やVM Importによる移行をサポート
- オンデマンドとリザーブドの価格体系をご提供

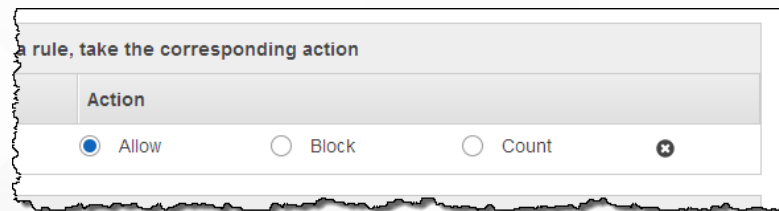
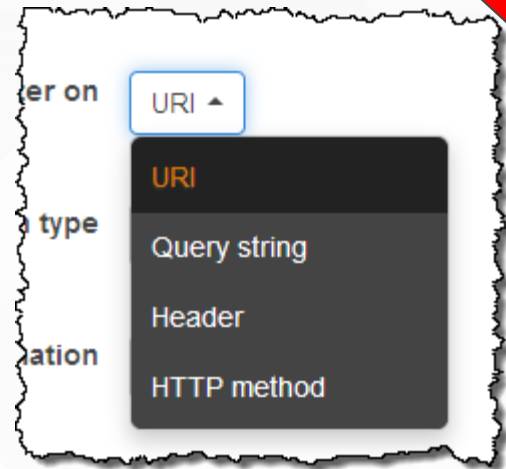
# Amazon QuickSight

- クラウドベースのBIツール
- AWS内部のデータソースを自動探索し簡単に始められる
- 直感的なビジュアル化機能(Auto Graph)を搭載
- 新規開発のSPICEエンジンを搭載し高速に動作
- パートナ製品との連携もサポートする



# AWS WAF

- CloudFrontのエッジにてWebアプリケーションを攻撃から保護する機能を提供
- リクエストURI、クエリ文字列、HTTPヘッダ、HTTPメソッドやIPアドレスを判定条件(Conditions)として設定できる
- 条件に応じて許可・拒否・カウントを選択
- 費用
  - 1WebACLあたり月額5ドル
  - 1ルールあたり月額1ドル
  - 100万リクエストあたり0.6ドル





# AWS Database Migration Service

NEW

- 最小限のダウンタイムでデータベースのAWS移行を実現する
- Oracle DB, SQL Server, MySQL, PostgreSQL, Amazon Aurora, MariaDB, Redshiftなどをサポートし異種DBへの移行も
- データベース間で継続的なレプリケーションを実現
- AWS Schema Conversion Toolをご用意
  - AWS Data Migration Serviceの1機能
  - 既存DBのスキーマやストアドプロシージャを別のDBに移行する
  - ツールの利用料金は無料
- US-EASTリージョンでのプレビューお申し込みを受付中

# EC2 Spot blocks – [NEW!]

NEW



最大6時間まで継続  
して稼働



オンデマンド価格価格  
最大50% OFF

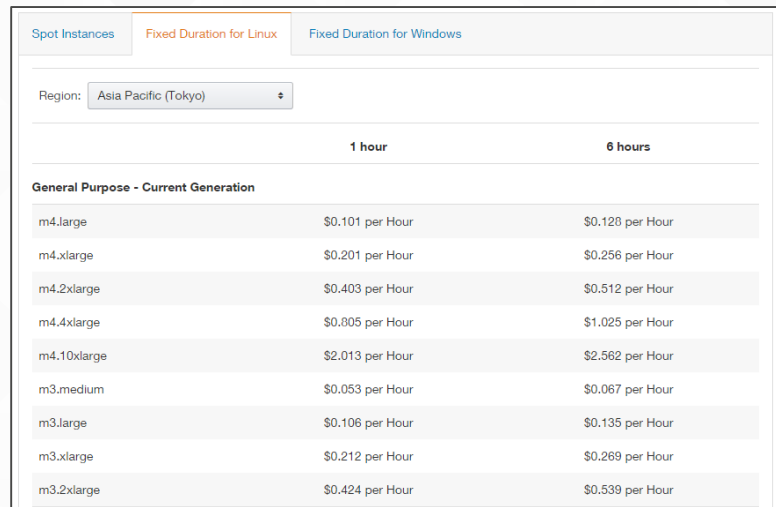
```
https://ec2.amazonaws.com/?Action=RequestSpotInstances
&SpotPrice = 0.25
&InstanceCount = 2
&Type = one-time
&Duration = 180
&LaunchSpecification.ImageId=ami-1a2b3c4d
&LaunchSpecification.KeyName=my-key-pair
&LaunchSpecification.SecurityGroup.1=websrv
&LaunchSpecification.InstanceType=c3.8xlarge
```

1つの追加パラメー  
ターを記載するのみ

# EC2スポットブロック

NEW

- 一定時間継続して稼働できるスポットインスタンス
- アプリケーションの処理に必要な時間（1~6時間）に渡り利用できる
  - バッチ処理
  - エンコーディング
  - レンダリング
  - 分析処理 などなど
- スポットインスタンスとは独立価格。利用時間が長くなると単価が高くなる



	1 hour	6 hours
<b>General Purpose - Current Generation</b>		
m4.large	\$0.101 per Hour	\$0.126 per Hour
m4.xlarge	\$0.201 per Hour	\$0.256 per Hour
m4.2xlarge	\$0.403 per Hour	\$0.512 per Hour
m4.4xlarge	\$0.805 per Hour	\$1.025 per Hour
m4.10xlarge	\$2.013 per Hour	\$2.562 per Hour
m3.medium	\$0.053 per Hour	\$0.067 per Hour
m3.large	\$0.106 per Hour	\$0.135 per Hour
m3.xlarge	\$0.212 per Hour	\$0.269 per Hour
m3.2xlarge	\$0.424 per Hour	\$0.539 per Hour

# Amazon RDS for MariaDB

- RDSがサポートする機能を利用可能
  - Multi-AZ / 6TB・30,000IOPS EBS / Full-managed
- XtraDB や Ariaを利用可能
  - parallel replication / thread poolingも利用可能
- バージョン 10.0.17を提供
- RDS for MySQLと価格は同じ



MariaDB



NEW

# Amazon Kinesis Firehose

- ストリーミングデータをダイレクトにS3やRedshiftに格納する
- Kinesis Streamからのデータ取得やS3/Redshiftへの格納をアプリなしで実現
- 最小1分間隔での処理が可能。圧縮や暗号化も設定だけで実現
- スループットに応じたスケーリング
- 米国東部、オレゴン、アイルランドリージョンでサービス提供開始



Destination

Select the destination where your streaming data will be delivered.

Destination\* Amazon S3

Delivery stream name\* incoming-stream ⓘ

S3 Bucket

S3 bucket\* incoming-stream ⓘ

S3 prefix S3 prefix ⓘ

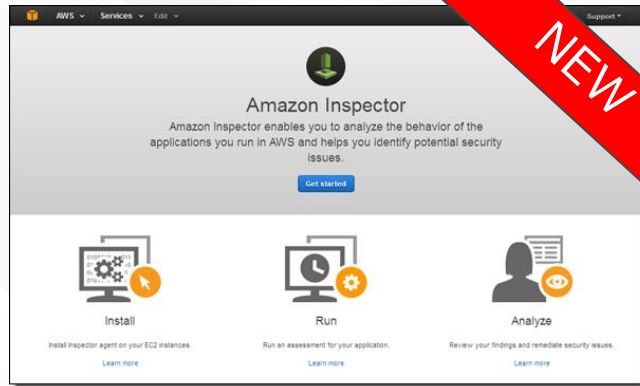
IAM role\* Select IAM role ⓘ

Firehose needs an IAM role to access your destination S3 bucket and KMS key. [Learn more](#)

\*Required Cancel Skip To Review Next

# AWS Inspector

- 自動化されたセキュリティ診断サービス
- APIで制御できるので、開発プロセスの中に組み込むことで均質なセキュリティ診断を自動的に実行できる
- 内容についてはルールセットにより制御が可能
- 診断対象のインスタンスにエージェントをインストールした後にInspectorを起動して利用する



**Define an assessment**

An assessment is the process of discovering potential security issues (findings) through the analysis of your application's behavior against selected rule packages. [Learn more](#).

**Assessment name\***

**Rule packages\***

- 
- 
- 

Amazon Inspector assesses the application against selected rule package(s). [Learn more](#).

**Duration\***

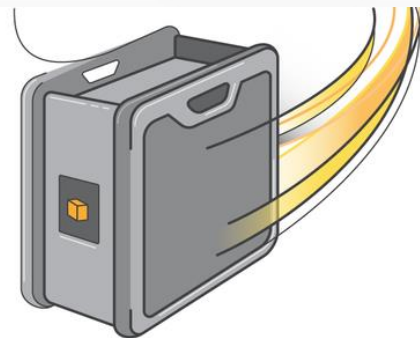
The default Amazon Inspector assessment duration is 24 hours. You can modify the duration, but note that assessments with longer durations can deliver fuller sets of findings.

\*Required

# AWS Import/Export Snowball

NEW

- AWSから提供するハードウェアを用いて、データのインポートとエクスポートを可能に
- スケールとスピード
  - 容量は48TB、10Gbps or 1Gbpsで接続可能
- セキュア
  - 耐タンパーエンクロージャー
  - KMSによる256-bit暗号化とTPM
- シンプル
  - マネージメントコンソールで管理
  - 軽量なデータ転送クライアントと通知機能



# コスト

NEW

- Jobごとの利用料金：\$200
- 利用日数が2週間を超えた場合の追加料金：\$15.00/日
- データ転送量（AWSにデータを入れる場合）：\$0.00/GB
- データ転送量（AWSからデータを出す場合）：\$0.03/GB
- ハードウェア配送費用：条件によって異なる
- Amazon S3の課金：スタンダードストレージ料金とリクエスト課金



高速な  
データ転送



End-to-End  
暗号化



End-to-End  
のトラッキング



耐タンパー



耐久性と可搬性



セキュアな  
データ削除

※コストは10/9時点のUSリージョンにおける予価です



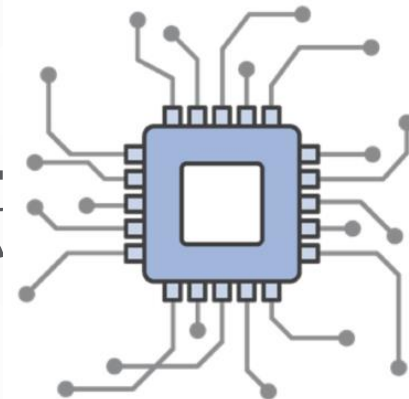
# AWS Config Rules

NEW

- AWS Config - AWSリソースの構成管理

- 構成変更において、守るべきルールを事前に設定し、その内容に沿った構成変更が行われているかモニタリングすることが可能

- 全てのEBCボリュームが暗号化されていること
- EC2インスタンスが適切にタグ付されていること
- Elastic IP address(EIP)がインスタンスにアタッチされていること



# AWS Config Rules

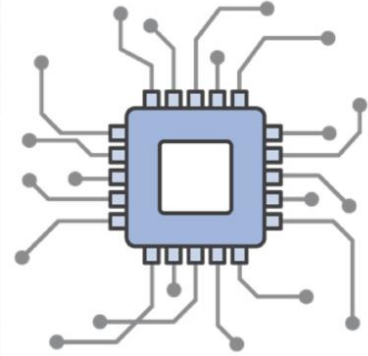
- AWS Config
  - 中国リージョン、Govcloudリージョンを除く全リージョンで利用可能
- AWS Config Rules
  - プレビューを開始

# 新たに発表されたサービス – Day2

Service Name	Status
AWS IoT	Beta - IAD, PDX, DUB, NRT
AWS Mobile Hub	Beta – IAD
Amazon Kinesis Analytics	Preview – IAD
Amazon EC2 Container Registry	Pre-Announce
Amazon CloudWatch Dashboards	GA
Amazon EC2 X1 Instances	Coming Soon

# AWS IoT

- デバイスやモバイルアプリケーションなど、広義の“モノ”を安全かつ簡単にクラウドに接続することを可能に
- メッセージングとルールエンジンなどIoTに求められる要素をご提供
- Device SDKで“モノ”の側で動作するアプリケーションも容易に開発できる
  - Embedded C
  - JavaScript
  - Arduino Yún



NEW

**AWS IoT**

AWS IoT is a managed cloud service that lets connected devices – cars, light bulbs, sensor grids and more – easily and securely interact with cloud applications and other devices.

[Get started](#) [Start interactive tutorial](#)

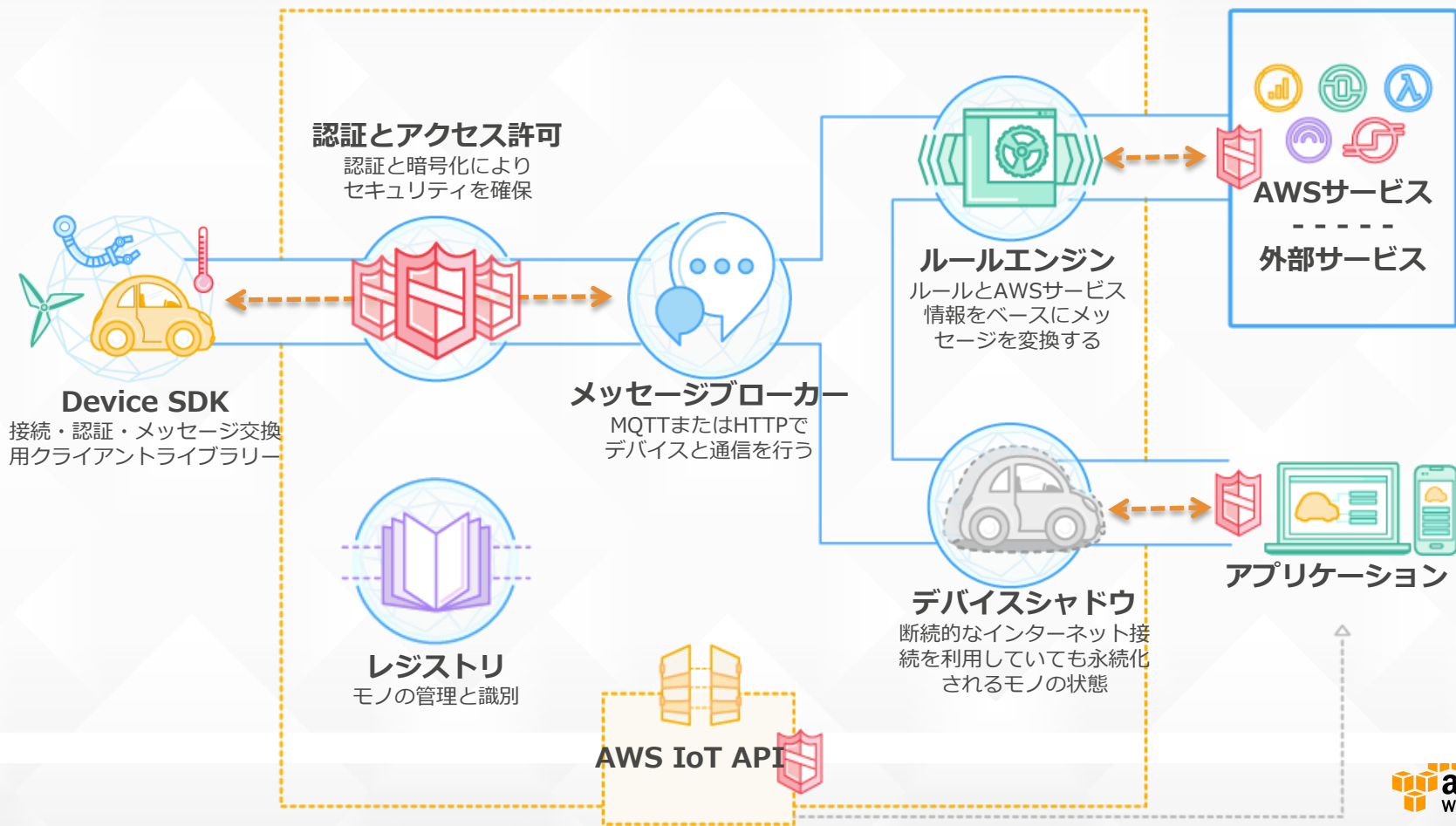
Getting started documentation

- Connect and manage your devices**  
Connect devices to the cloud using the protocol that best fits your requirements – HTTP, MQTT, or a custom protocol. Devices can communicate with each other even if they are using different protocols.  
[Learn More](#)
- Process and act upon device data**  
Filter, transform and act upon data from devices on the fly, based on business rules. IoTbreaker makes it easy to use AWS services like Amazon DynamoDB, Amazon Kinesis, Amazon Machine Learning, and AWS Lambda.  
[Learn More](#)
- Read and set device state at any time**  
IoTbreaker stores the latest state of a device so that it can be read or set anytime, making the device appear to your applications as if it were online all the time. You can read or set a device's state even when the device is offline.  
[Learn More](#)

© 2008 - 2015, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved. [Privacy Policy](#) [Terms of Use](#)

# コンポーネント

NEW



# AWS Mobile Hub

NEW

- AWSを使ったモバイルアプリの開発を簡単に
  - ユーザサインインといった典型的ユースケースごとのスターターコードを提供
  - 関連サービスの設定と構築を自動で
- AWS Management Consoleから利用可能
- 現在はUS-East-1のみ、東京リージョンとダブリンは近くサポート予定
- AWS Mobile Hub自体のご利用は無料  
※利用する各サービスの費用はかかります



# Amazon Kinesis Analytics(先行発表)

NEW

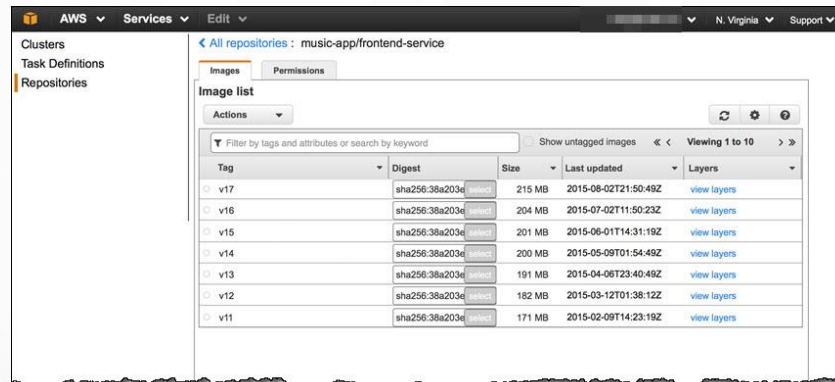
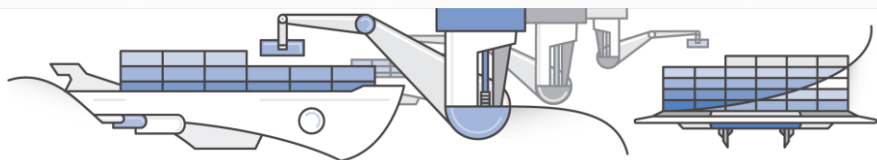
- ストリーミングデータに対するSQLによるアクセスを可能にする
- 1秒以内のレイテンシーで継続的なストリーミングデータの処理を必要とするリアルタイムアプリケーションを実現
- 停止することなくスケーリングが可能な伸縮性を備える



# Amazon EC2 Container Registry (先行発表)

NEW

- Docker registryのマネージドサービス
- 高可用性、スケーラブル、IAMとの連携、暗号化
- ビルド・デプロイ自動化のパートナー連携
  - Shippable, CloudBees, CodeShip, Werkcer
- 年内に利用可能予定
  - サインアップをぜひ!

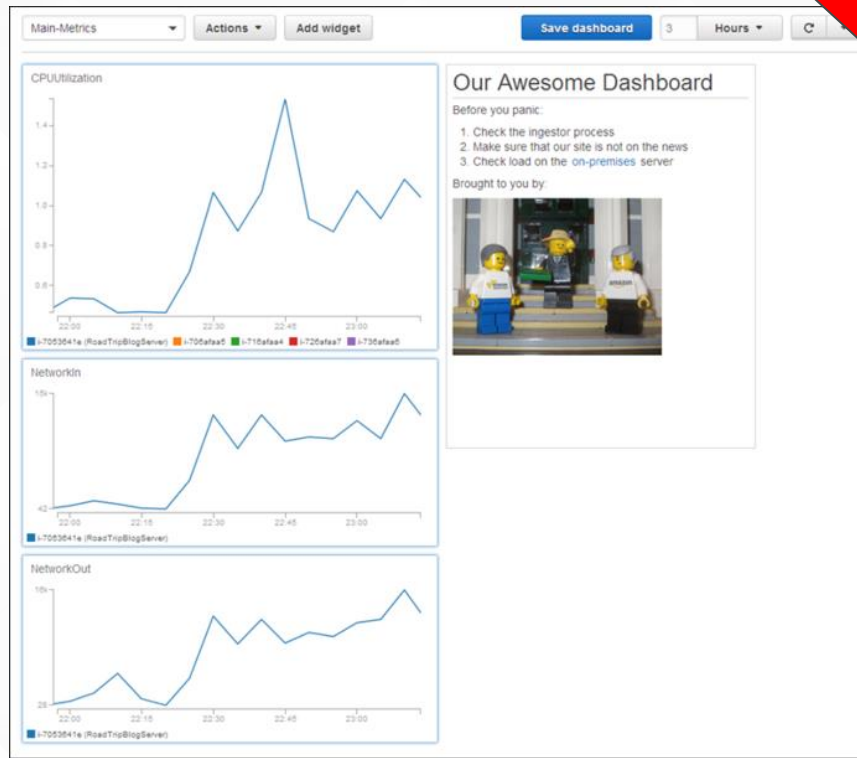




# Cloudwatch Dashboard

NEW

- Cloudwatchメトリクスをチェックするためのカスタムダッシュボードを作成可能に
- 1つのダッシュボードあたり、50までのメトリクスを集約できる
- マルチリージョンをサポート。複数のリージョンにまたがるリソースを統合監視できる
- ダッシュボード1つあたり月額3ドル（3つまでは無料）



# EC2 Instance Update

NEW

- 大容量メモリを搭載したX1インスタンス
  - 最大2TBのメモリを搭載
  - 高速なメモリ帯域とL3キャッシュをもつIntel Xeon E7 V3
  - 最大100vCPU以上のコンピューティング能力
  - インメモリデータベースやリアルタイム分析などに最適
  - 2016年前半にリリース予定
- より小規模なt2.nanoインスタンス
  - 512MBのメモリ、1vCPU
  - 他のt2と同様にバーストをサポート
  - Webサイトのホストや、マイクロサービス、監視用途に

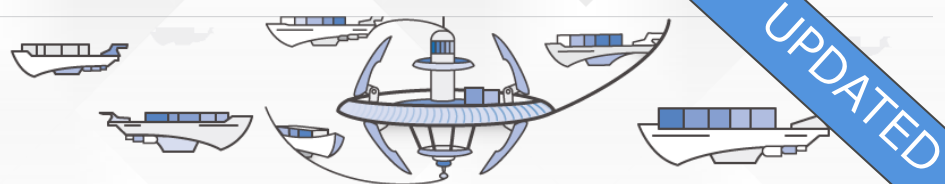


t2.nano

# 新たに発表されたアップデート

Service Name	Update Content
Amazon ECS	Amazon ECS CLI
	Docker Compose Support
	AZ Aware Scheduling
AWS Lambda	Python Support
	Versioning
	Scheduled Functions
	5 Minute Functions
Amazon Kinesis Stream	Amazon Kinesisの名称変更

# Amazon ECS 機能追加



- ECS CLIを提供
  - Docker Compose連携も可能に
- Dockerコンテナ設定オプション追加
  - ラベル、特権実行、logging driver、DNSなどなど
- AZを意識したスケジューリング
  - Multi-AZになるようにTaskを配置

# AWS Lambda Updates

UPDATED

## VPC Support (間もなく)

- VPC内のリソースへインターネットを経由せずにアクセス可能 (RDS, ElastiCache etc)
- Lambdaファンクション作成時にVPCサブネット、セキュリティグループを選択
- AWSリソースへの接続元は選択したサブネット内のIPが動的に割り当てられる

## バージョンニングとエイリアス

- 特定のファンクションに対して、コードをアップロードすると自動でバージョン番号を割当て
- 名前付きのエイリアスもサポートされ、バージョンやエイリアスを指定することが可能に  
例) `arn:aws:lambda:us-west-2:123456789012:function:PyFunc1:prod`

## Python 2.7のサポート

- LambdaファンクションをPython2.7で記述可能に

# AWS Lambda Updates

UPDATED

## タイムアウト時間の延長

- 最大300秒に延長

## Scheduled Events

- Lambdaファンクションのスケジュール実行が可能に
- イベントソースとしてインターバルもしくはCron形式での指定
- 現在は最短インターバルは5分
- コンソールからの設定のみ

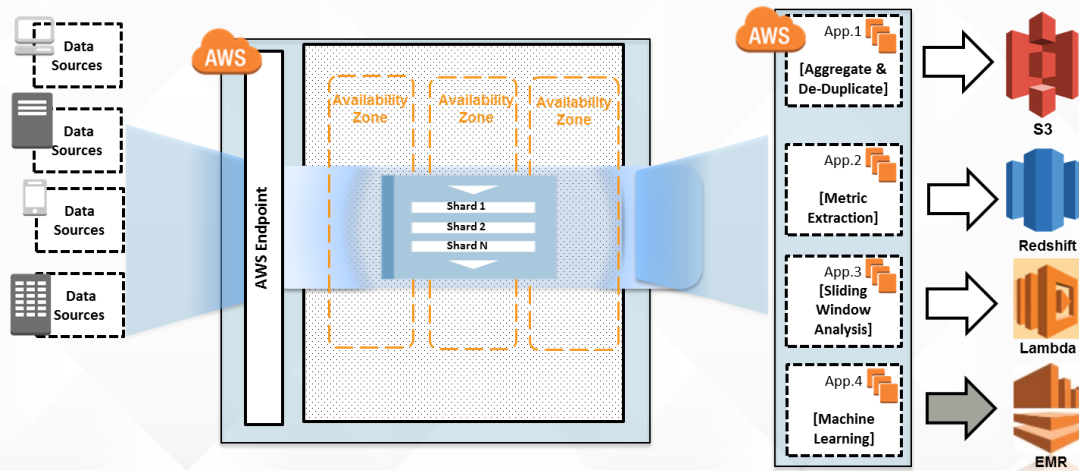
## 新しいデータソース

- Amazon SES inbound mail
- Amazon CloudWatch Logs
- Amazon Connected Home (Preview)
- AWS IoT

# Amazon Kinesis Stream

UPDATED

- Amazon Kinesisの名称がAmazon Kinesis Streamに変更
- データの保持期間が24時間から最大7日間まで延長可能
- 延長分の費用は別途必要となる



※費用についてはこちら : <https://aws.amazon.com/kinesis/pricing/>

# re:Inventに先駆けて発表されたサービス

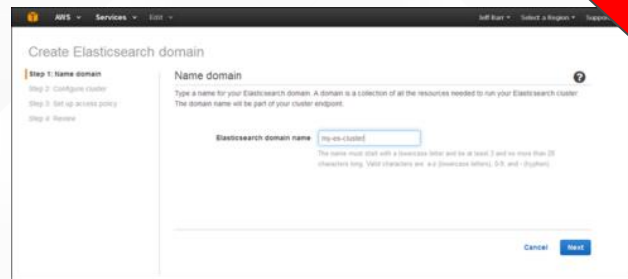
Service Name	Status
Amazon Elastic Search Service	New
S3 標準 - 低頻度アクセスストレージ (Standard-Infrequent Access Storage)	New
Amazon Elastic MapReduceリリース4.1.0	Update
Amazon SESがメール受信とその処理をサポート	Update
CloudTrail - KMSによる暗号化とログファイル整合性の検証	Update
WorkSpaces – Win7のBYOL, Chromebookのサポート, ディスクの暗号化	Update
CloudFormation Designerとサポート拡大	New



# Amazon Elastic Search Service

NEW

- Elasticsearchクラスタを数分間で起動できるマネージドサービス
- Kibanaが組み込まれており、即座にデータのビジュアライズに着手できる
- CloudWatch Logsとのインテグレーション
- Snapshotによるバックアップ機能
- すでに東京リージョンでも利用可能！



## 分析



### Elastic MapReduce

マネージド型 Hadoop フレームワーク



### Data Pipeline

データ駆動型ワークフローに対するオーケストレーションサービス



### Elasticsearch Service

Elasticsearch クラスタの実行とスケールング



### Kinesis

ビッグデータストリームのリアルタイム処理



### Machine Learning

すばやく簡単にスマートアプリケーションを構築

# S3 標準-低頻度アクセスストレージ(SIA)

NEW

- S3とGlacierの間を埋めるストレージクラス
  - S3と同等の耐久性(99.999999999%)を確保
  - アクセス方法はS3と同様。必要な時にすぐアクセスできる
  - 99.9%の可用性を実現するように設計 (SLAは99%)
  - ライフサイクルポリシーによりクラス間の移行が可能

## • コスト

- ストレージ費用 : \$0.019/GB
- ライフサイクル移行リクエスト費用 : \$0.01/1,000Req
- データ取り出し費用 : \$0.01/GB

※オブジェクトの最小サイズは128KB, 最小保管期間は30日。  
それに満たない場合は、切り上げて課金される



標準  
(Standard)



標準-低頻度アクセス  
(Standard-IA)



Glacier

※コストは10/9時点の東京リージョンのもので

# Amazon Elastic MapReduceリリース4.1.0

UPDATED

- 新たに各種ソフトウェアを追加・機能拡張
  - Spark 1.5.0
  - Hue 3.7.1
  - Hadoop KMSによるHDFSの透過的な暗号化
  - Presto 0.119(サンドボックスアプリケーション)
  - Zeppelin 0.6(サンドボックスアプリケーション)
  - Oozie 4.0.1(サンドボックスアプリケーション)
- インテリジェントなリサイズ機能の実装
  - 実行中ジョブに対する影響を最小に押さえたクラスタの縮退
  - ノード追加時に利用可能なものから順次ジョブを実行可能
  - リサイズリクエストの処理中にもりリサイズ処理を停止可能



# SESがメールの受信とその処理をサポート

UPDATED

- メールを受信するかどうかを制御するルールの設定が可能
  - 送信元メールアドレス、ドメインによる制御
  - スパムスキャンおよびウィルススキャンの要否
- ルールに合致したメールの処理方式は複数から選択できる
  - Lambdaファンクションを起動したり、SNSのトピックに送信する
  - S3バケットにメッセージを保存する
  - メッセージにヘッダを付与したり、送信者にバウンスする
- コスト
  - メール件数：\$0.10/1,000通
  - メールデータの量：\$0.09/1,000チャンク ※1チャンク=256KB※LambdaやSNS, S3を利用した場合の費用は別途必要

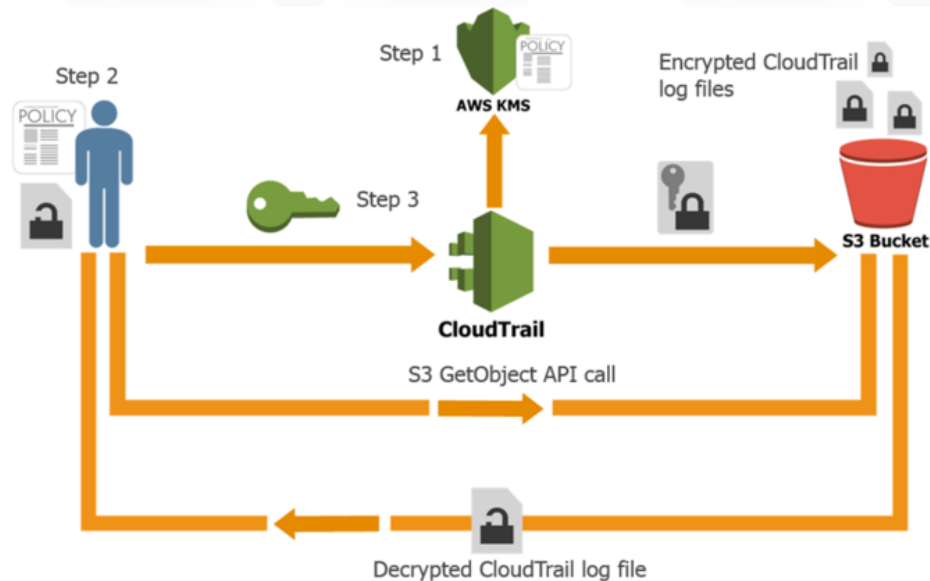


※コストは10/9時点のものです

# CloudTrail – KMSによるログファイルの暗号化

UPDATED

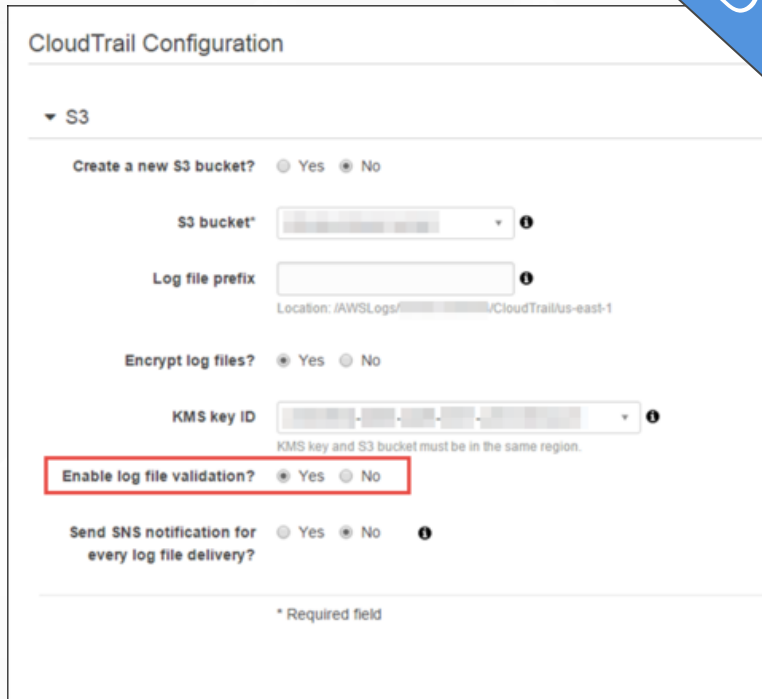
- CloudTrailが生成するログファイルをKMSの鍵を利用して暗号化することが可能に
- 読み取りアクセス権があれば、復号化は透過的に行われるため、ユーザ側では意識する必要なし
- CloudTrailが利用するKMS鍵を設定したうえで、ユーザに対して復号化の権限を付与すれば利用開始できる



# CloudTrail – ログファイル整合性の検証

UPDATED

- CloudTrailが生成するログファイルに対して、削除や改ざん操作が行われていないかを検知できるように
- ログファイル整合性の検証機能を利用するには、証跡ログファイルの取得設定が必要
- 削除や改ざんを検知する場合はAWS CLIの“aws cloudtrail validate – logs”を利用する



CloudTrail Configuration

▼ S3

Create a new S3 bucket?  Yes  No

S3 bucket\*  ⓘ

Log file prefix  ⓘ  
Location: /AWSLogs/...,CloudTrail/us-east-1

Encrypt log files?  Yes  No

KMS key ID  ⓘ  
KMS key and S3 bucket must be in the same region.

**Enable log file validation?**  Yes  No

Send SNS notification for every log file delivery?  Yes  No ⓘ

\* Required field

# WorkSpaces - BYOL, Chromebook, 暗号化

UPDATED

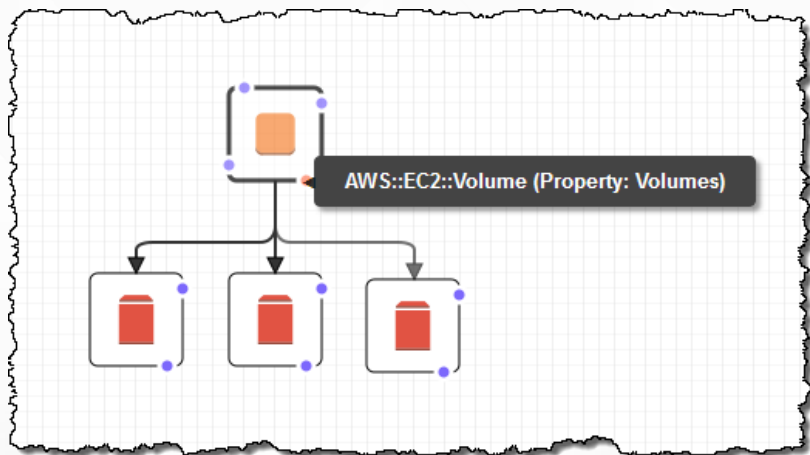


- Windows7のデスクトップライセンスを持ち込み可能に
  - 物理的に占有するハードウェアでWindows7の稼働が可能に
  - WorkSpaces利用ユーザ1名あたり4ドルのコストを削減
  - マイクロソフト社と有効なEAがあり、AWSと200台以上の利用コミットが必要
- Chromebook用のクライアントアプリを新たにリリース
  - 安価なノートPC型デバイスであるChromebookでWorkspacesにアクセスが可能に
  - Chrome OSのバージョン45以上のデバイス(Intel or ARM)で利用可能
- KMSを利用したボリュームの暗号化
  - WorkSpaces環境の起動時にCドライブとDドライブの暗号化をサポート
  - 暗号化自体は無料で利用可能。KMSの費用のみが発生する

# CloudFormation Designerとサポート拡大

NEW

- CloudFormationテンプレートの作成を支援するGUIツール
- 同時にAmazon Aurora, AWS CodeDeploy, Directory Service(Simple AD), EC2 Spot Fleet, Amazon WorkSpacesをサポート



```
Properties Metadata CreationPolicy DeletionPolicy DependsOn
I4N06Y
1 {
2   "Resources": {
3     "I4N06Y": {
4       "Type": "AWS::EC2::Instance",
5       "Properties": {
6         "InstanceType": "t2.medium",
7         "DisableApiTermination": "true",
8         "Monitoring": "true",
9       "Volumes": [
10        {
11          "VolumeId": {
12            "Ref": "VOL10ZQL"
13          },
14        },
15      ]
16    "VolumeId": {
```

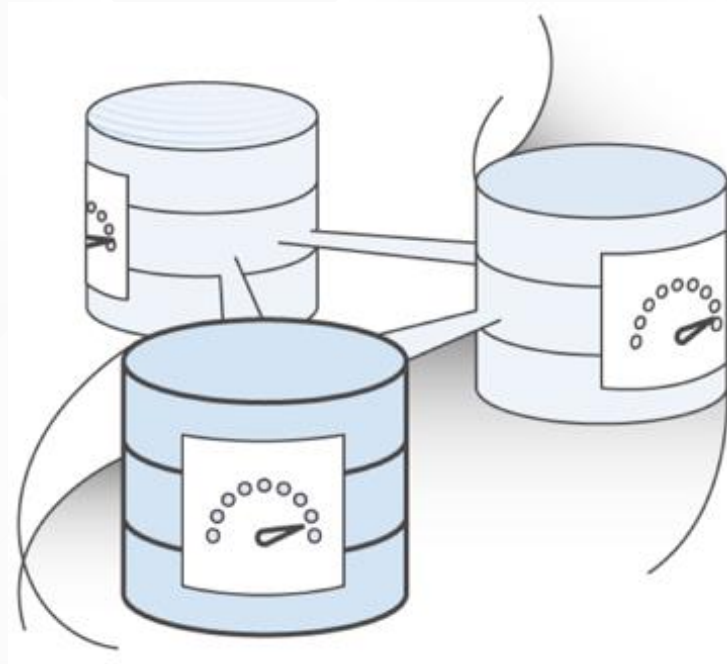


# その他

Service Name	Status
Aurora	東京リージョンに
API Gateway	東京リージョンに

# Amazon RDS for Auroraが東京リージョンへ！

- Amazon RDS for Auroraが東京リージョンでもご利用可能に！
- Auroraに関する情報はこちら
  - ドキュメント  
<http://amzn.to/1MePApy>
  - ご紹介資料  
<http://bit.ly/1PiKQju>



# Amazon API Gatewayも東京リージョンへ！

- Amazon API Gatewayも東京リージョンでご利用いただけます！
- API Gatewayに関する情報はこちら  
ら
  - ドキュメント  
<http://amzn.to/1jQAgV6>
  - ご紹介資料  
<http://bit.ly/1JUV0Qr>

